

令和 2 年 7 月 14 日
気象庁予報部
気象庁観測部

配信資料に関する仕様 No. 12108

～着陸用飛行場予報～

1. 概要

気象庁では国際便航空機により安全かつ効率的な運航のため、航空気象定時観測気象報に着陸用飛行場予報を付加して提供している。着陸用飛行場予報 (TREND) は、到着予定前おおむね 1 時間以内の航空機の着陸に利用されることを目的とし、成田国際空港・東京国際空港・中部国際空港・関西国際空港及び福岡空港を対象に発表している。

2. 内容

(1) 発表時刻と有効期間

発表時刻は毎時 00 分及び 30 分。有効期間は発表から 2 時間後までである。必要のある場合は、訂正報 (COR) を発表する。なお、修正報 (AMD) は発表しない。

(2) 電文

航空気象定時実況気象報に着陸用飛行場予報が付加されるため、データ種類コード、データ形式及び冒頭符号は、航空気象定時実況気象報と同様である。

ア. データ種類コード及びデータ形式

データ種類コード	SAJP (航空気象定時実況気象報 単体報) SAJP71 (航空気象定時実況気象報 編集報)
データ形式	A/N (半角英数字)

イ. 電文の冒頭符号の例

データ種類	対象飛行場名	冒頭符号
単体報	成田国際空港	SAJP RJAA YYGGgg
	東京国際空港	SAJP RJTT YYGGgg
	福岡空港	SAJP RJFF YYGGgg
編集報		SAJP71 RJTD YYGGgg

YYGGgg : 発表日付 (YY)、時刻 (GGgg) UTC

ウ. TREND本文

TRENDの通報型式については、気象庁HP掲載の「航空気象通報式」の「着陸用飛行場予報気象通報式 (TREND)」を参照のこと。

気象庁HP、「航空気象通報式」のページ：

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsuhoshiki/tsuhoshiki.html>

エ. 例文

例文 1：成田国際空港の着陸用飛行場予報を航空気象定時実況気象報に付加する場合

SAJP RJAA 111430 冒頭符号
METAR RJAA 111430Z 23015G26KT 9999 VCSH FEW010/BKN015 BKN070 27/24 Q1004 着陸用飛行場予報の部分
TEMPO 3000 TSRA BR FEW008 BKN012 FEW020CB 航空気象定時実況
RMK 1CU010 5CU015 7AC070 A2967= 気象報の本文

例文 2：東京国際空港の着陸用飛行場予報を航空気象定時実況気象報に付加する場合

SAJP RJTT 120930
METAR RJTT 120930Z 20008KT 9999 -SHRA FEW010 BKN030 28/23 Q1003
BECMG 22018G28KT RMK 1ST010 5CU030 A2962=

例文 3：福岡空港の着陸用飛行場予報を航空気象定時実況気象報に付加する場合

SAJP RJFF 250430
METAR RJFF 250430Z 32005KT 9999 FEW020 28/23 Q1003
NOSIG RMK 1CU020 A2962=

3. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再送は行わないため、あらかじめご承知おきください。